

女性チャレンジ応援拠点だより 2020 10月

〇●〇コラム【来年を視野に動く秋！】〇●〇

風にも空にも秋を感じるようになりました。「行楽の秋」到来ですが、ともあれ<行動>の秋です。季節を楽しみつつ、同時にちょっと先をみすえて、準備や学びに動くタイミングの10月です。

何せ今年も残り3ヶ月です。2021年も視野に入ってきました。ただいつもの秋と違って、「コロナ」を抜きに来年のことを考えられません。「コロナ」で将来展望が変わった方もいらっしゃるでしょう。来年のこの前に、もっと先々のことを見通し、判断し、決定して、動く必要が出てきているかもしれません。

そこで今月の「チャレンジが実る流儀〈ケーススタディ〉」は、誰でもがある局面で迫られる「選択」「決定」の例をみてみましょう。

～ケース7『選択・決定の先に貴重な収穫』～

誰もが羨む国家資格を、必要な更新をせず、捨てた方がいます。経営系の国家資格を取得し、経営コンサルタントとして活動していたSさんは、事業所の経営改善に関わる中で、しだいに「ヒト」の問題に気が向き、心理学などの専門的な知識と技能を独学、そのうち仕事の中心はコミュニケーション関連の社員研修やワークショップになったのです。別に資格を捨てなくても…と思いますが、それを選択し、決め、実行したSさんです。いまはNPO法人にも所属し、人間関係や自分に自信が持てないと悩む人たちのサポートをされています。

Tさんは、本来やりたいことと一旦休止して、新しいことに今チャレンジし始めています。伝統的な自然治療学の実践者として本国の正統な資格も取得したTさんは、マイペースで大らかに活動を続けてきましたが、「コロナ」の感染対策下では自分の思うようなカタチができないと、休止を決断。この選択もなかなか鮮やかです。聞くところ元々書くことが好きだったとか。そこでシナリオライターのノウハウを独学し、作品応募に精を出していたら、採用されたといいますから、驚きです。休止している方も新しいチャレンジも、どちらも『好きこそものの上手なれ』ということですね。

事業所を「法人」から「個人」に変え、仕事に新しいコンセプトをとりいれて、活動の焦点をぐっと絞り込んだ方もいます。法人時代のWebサイトはきれいさっぱり削除されて、なかなか潔い印象をもったものです。

これらみなさんの選択と決定は、人目には結果しか見えないので、ただただ感心するばかりですが、ご本人たちが重ねた葛藤はいかばかりだったのでしょうか。でも決めてしまえば、『自己成就の効果』が期待できます。実際にそうなっています。

この「拠点だより」をご覧のみなさんもそのはずです。10月、考えましょう、動きましょう。みなさんの来年に、未来により収穫をもたらしましょう。「拠点」には一緒に考えるスタッフが待機しています。みなさんのご利用をお待ちしております。

。°+°。°+°。ご来室、ご利用、お待ちしております °。°+ °。°

現在、一度の入室人数は6人までを目安に開室しております。引き続き、換気や清拭による消毒などの徹底や飛散防止アクリル板の設置をして、安心してお話いただける空間づくりに努めています。メールでの相談は随時、開室時間中は電話でも相談できます。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

✿開室日 ※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ～ 12:30	18:00 ～ 20:00	13:00 ～ 15:00	10:30 ～ 12:30	13:00 ～ 15:00

✿開室時間内は自由に入出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

